

植野 紉 / 永石 貴之

ホルダーの関わる大規模開発では、設計内容の迅速な合意形成に欠かせない手法といえます。例えば、適切な植栽材料選定のための光量や風のシミュレーション、快適な居場所の設計のための温熱シミュレーションや卓越風の検討、広場の大きさや幅員の決定のための混雑状況や人の流れの予測等、様々な試行が重ねられています。もちろんコンピューテーショナル技術の進歩が、これを可能にしていることは言うまでもありません。さらに竣工後のモニタリングデータをフィードバックすれば、エビデンスの精度向上に繋がるでしょう。(植野紉)

[illegible]